

令和6年3月4日

足立区立伊興中学校
校長 千葉 千登勢 様

足立区立伊興中学校 開かれた学校づくり協議会

令和5年度 学校関係者評価書

1 自己評価書（学校経営計画・自己評価書）全般について

- ・4年間のブランクを一気に授業や学校行事で払拭して、生徒にとっては楽しい学校生活を送れたのではないのでしょうか。
- ・生徒アンケートで高い評価を付けている項目が多いのは、「私たちの学校、僕らの学校」という意識があるからではないのでしょうか。
- ・いこう彰風まつりのボランティア活動や運動会で地域より半纏を借りて演技を披露するなど、地域との関りが広まっているので、来年も継続できれば良いと思います。
- ・家庭学習の時間が少ないのは、塾に行っている生徒が多いことも影響していると思うので、塾も入れた時間を問うようにした方が良いと思います。
- ・生徒一人一台タブレットは勉強しよう思う気持ち上がるのなら、とてもいいことだと思います。先生方もICTを活用しなければならないので大変ですね。
- ・新しい制服になって何か、変わったことがありましたか？→学校側より
女子のズボンや着脱が楽なブレザー型になり、また軽量なので生徒は快適に過ごしています。
- ・学校は落ち着いているようですが、依然と何か違う傾向はありますか。→学校側より
心の内面の悩みを抱えている生徒が多いです。悩みの理由も複雑で、不登校生徒やリストカット、オーバードーズなど重い問題を抱えている生徒もいます。
- ・相変わらずマスクを外さない生徒がたくさんいるのは、コロナの影響をまだひきづっているからなのでしょうか。こればかりは強要できないので難しいですね。
- ・不登校の生徒さんが多いのは、コロナ禍で自宅にいる生活が身についてしまったことが原因となっている場合もありますか？「彰風ルーム」など別室を開設したことはよかったです。別室で給食などが食べられるといいですね。また午後からの登校も可能になるといいです。色々な事情を抱えている生徒が多いことがよくわかりました。

2 学校から提示された「課題」や「保護者・地域への期待」について

- ・不登校生徒が増えてきています。また、家庭の協力が得られないケースも多いので、民生委員さんなど地域の協力をお願いしたいです。地域でも見守りをお願いしたいです。
- ・多様な生徒が多いので、今後も生徒の体験活動を増やす機会を作っていただきたいです。